

■イルデブランド・ピッツェッティ作曲

Ildebrando Pizzetti (1880-1968)

三つの合唱作品

3 Composizioni corali (1942-1943)

■フランツ・リスト作曲

Franz Liszt (1811-1886)

ゲーテの「ファウスト」第2部より天使の合唱

Chor der Engel aus Goethes Faust II (1849) *

■上田真樹編曲

Maki Ueda (1976-)

Melodies in Ravel [東京混声合唱団委嘱作品—初演—] (2018)

■フランク・マルタン作曲

Frank Martin (1890-1974)

二重合唱のためのミサ曲

Messe pour double Chœur (1922-26)

KEIKO

2019年3月31日(日)

15:00開演(14:30開場)

よみうり大手町ホール

指揮：三ツ橋敬子

Conductor : Keiko Mitsuhashi

ハープ：景山梨乃*

Harp : Rino Kageyama

東京混声合唱団 第249回定期演奏会

入場料(税込み・全自由席)

一般券4,500円 学生券1,500円

【チケット前売り】

東京コンサーツ tel.03-3200-9755 (平日10:00~18:00)

<http://www.tokyo-concerts.co.jp>

(東京コンサーツHPで予約をして、セブンイレブンで支払い、受け取りができます)

東京混声合唱団オンラインチケット <http://toukon.tstar.jp/>

チケットぴあ tel.0570-02-9999 (Pコード 137-562)

【お問い合わせ】

東京混声合唱団事務局 tel.03-3200-9755 fax.03-3200-9882

<http://toukon1956.com>

主催：一般財団法人合唱音楽振興会

助成：文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術創造活動活性化事業)

協賛：サントリーホールディングス株式会社



3つの時代の4人の作曲家。とてもバラエティに富んだプログラムで、東京混声合唱団のみなさまと初共演させていただくことになりました。

今回はピアノ伴奏ではなく4曲中3曲は無伴奏、もう1曲はハープの伴奏という珍しい編成です。合唱のテキスト(歌詞)も、イタリアのピッツェッティはイタリア語とラテン語、リストはゲーテの詩によるドイツ語、マルタンのミサはラテン語というように、それぞれの言語による詩の魅力を感じていただけるのではないのでしょうか。さらに、上田氏による委嘱作品は、フランスの作曲家モーリス・ラヴェルをテーマに彼の器楽作品を人の声で表現するという、とても斬新で興味深いものになっています。

リストは19世紀に活躍し、彼の死と前後してピッツェッティ、マルタンが生まれ、さらに奇しくも彼らの死の数年のちに、私と同世代の上田真樹氏が誕生されています。混声合唱の大きな可能性が、それぞれの時代と作品の個性をどのように描いていけるのか、心から楽しみにしています。

この貴重なプログラムをぜひ、会場で体験してください!

三ツ橋 敬子

©大杉集平



三ツ橋 敬子 Keiko Mitsuhashi 【指揮】

東京藝術大学及び同大学院を修了。ウィーン国立音楽大学とキジアーナ音楽院に留学。第10回アントニオ・ペドロッチ国際指揮者コンクールにて日本人として初めて優勝。第9回アルトゥーロ・トスカニーニ国際指揮者コンクールにて女性初の受賞者として準優勝。併せて聴衆賞も獲得。第12回齋藤秀雄メモリアル基金

賞を受賞。09年にはNewsweek Japan誌にて「世界が尊敬する日本人100人」に選出。2011年には、TBS系列ドキュメンタリー番組「情熱大陸」に取り上げられた。2016年から神奈川県立音楽堂にて「三ツ橋敬子の新★夏休みオーケストラ」がスタート。子供たちへ多彩な音楽体験を届ける企画内容が好評を得ている。

©大杉集平



景山 梨乃 Rino Kageyama 【ハープ】

日本ハープコンクールジュニア部門、アドヴァンス部門第1位、リリラスキーヌ国際ハープコンクールシニア部門最高位(1位なしの2位)併せて特別賞受賞、ミュンヘンARD国際音楽コンクールで第3位など、多数受賞。ソリストとして、東響、新日本フィル、日本フィル、仙台フィル等とコンチェルトを共演。東京藝術大学

内にて福島賞、平山郁夫文化芸術賞を受賞。2011年パリエコールノルマル音楽院最高ディプロムを審査員満場一致と特別評価を受け取得。その後ベルリン芸術大学で学び、同時にベルリンフィル・カラヤンアカデミー修了。2013、2014年度(財)ロームミュージックファンデーション奨学生。これまでに渡辺かや、篠崎史子、早川りさこ、松井久子、イザベル・ペラン、マリー=ピエール・ラングラメ各氏に師事。2018年新日鉄住金音楽賞フレッシュアーティスト賞受賞。現在は東京交響楽団首席ハープ奏者。

©川村悦生

東京混声合唱団 THE PHILHARMONIC CHORUS OF TOKYO

1956年に田中信昭を中心とした東京藝術大学声楽科の卒業生により創設された日本を代表するプロフェッショナル合唱団。創立時に掲げた目標は3つ。(一) 楽しい雰囲気での演奏会を行う。(二) 職業合唱団として成立させる。(三) 日本の合唱曲を創る。今日もこの3つの目標を掲げながら演奏活動を行っている。東京での定期演奏会を核とした年間の活動は150回を数え、レパートリーは創立以来の作曲委嘱活動で生まれた200曲を超える作品群をはじめ、内外の古典から現代まで全合唱分野を網羅。文化庁芸術祭大賞、サントリー音楽賞、中島健蔵音楽賞等を受賞。



©平鶴平



よみうり大手町ホール

〒100-8055
東京都千代田区大手町 1-7-1

■アクセス

東京メトロ・都営地下鉄「大手町」駅C3出口直結、「東京」駅丸の内北口より徒歩8分
※有楽町の「よみうりホール」とお間違えないようご注意ください。